

2020年2月13日

上場会社名 株式会社アルファ

上場取引所 東

コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川名 祥之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 斉藤 雄一

TEL 045-787-8401

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	45,112	3.3	1,343	38.2	1,350	42.9	940	50.1
2019年3月期第3四半期	43,685	0.2	2,174	7.4	2,366	1.5	1,886	59.3

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 463百万円 (29.6%) 2019年3月期第3四半期 658百万円 (71.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	98.45	
2019年3月期第3四半期	197.48	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	57,139	28,794	48.4	2,897.44
2019年3月期	55,679	28,315	49.5	2,883.53

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 27,677百万円 2019年3月期 27,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		25.00	40.00
2020年3月期		15.00			
2020年3月期(予想)				25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	0.3	2,000	37.8	2,000	39.2	1,100	48.6	115.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規1社 (社名)ALPHA ADVANCED AUTOMOTIVE PARTS CO., LTD.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期3Q	10,200,000 株	2019年3月期	10,200,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期3Q	647,478 株	2019年3月期	647,478 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期3Q	9,552,522 株	2019年3月期3Q	9,552,523 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は451億12百万円と前年同四半期に比べ、14億26百万円（3.3%）の増収となりました。利益につきましては、営業利益は13億43百万円と前年同四半期に比べ、8億31百万円（△38.2%）の減益となりました。経常利益は13億50百万円と前年同四半期に比べ、10億15百万円（△42.9%）の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は9億40百万円と前年同四半期に比べ、9億45百万円（△50.1%）の減益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の利益又は損失の算定方法により組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましては「2 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等） セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① 自動車部品事業（日本）

自動車部品事業（日本）におきましては、主要得意先の減産並びに売上構成の変化等により、売上高は69億54百万円と前年同四半期に比べ、16億47百万円（△19.2%）の減収、セグメント損失は1億96百万円（前年同四半期はセグメント利益3億25百万円）となりました。

② 自動車部品事業（北米）

自動車部品事業（北米）におきましては、新規得意先向けの売上増加はあったものの、主要得意先の減産等により、売上高は105億75百万円と前年同四半期に比べ、5億96百万円（△5.3%）の減収、セグメント利益は5億5百万円と前年同四半期に比べ、1億83百万円（△26.6%）の減益となりました。

③ 自動車部品事業（アジア）

自動車部品事業（アジア）におきましては、ASEANでの売上増加があったものの、中国での主要得意先の減産等により、売上高は143億26百万円と前年同四半期に比べ、11億8百万円（△7.2%）の減収、セグメント利益は5億72百万円と前年同四半期に比べ、2億21百万円（△27.9%）の減益となりました。

④ 自動車部品事業（欧州）

自動車部品事業（欧州）におきましては、連結子会社の増加等により、売上高は87億72百万円と前年同四半期に比べ、35億64百万円（68.5%）の増収となりましたが、のれん代と新製品立ち上げ費用の増加等により、セグメント損失は86百万円（前年同四半期はセグメント損失28百万円）となりました。

⑤ セキュリティ機器事業（日本）

セキュリティ機器事業（日本）におきましては、住宅向け電気錠の販売は堅調に推移しました。さらに、ターミナルロッカーの販売は新製品AISが鉄道駅や空港などに採用され、順調に推移しました。この結果、売上高は67億50百万円と前年同四半期に比べ、2億60百万円（4.0%）の増収、パーツ高の影響を受けましたが、売上高の増加や売上構成比により、セグメント利益は8億94百万円と前年同四半期に比べ、91百万円（11.4%）の増益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業（海外）

セキュリティ機器事業（海外）におきましては、日本および現地向け製品の生産増により、売上高は34億66百万円と前年同四半期に比べ、1億71百万円（5.2%）の増収、セグメント利益は2億80百万円と前年同四半期に比べ、44百万円（19.1%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は571億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億60百万円の増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、20億99百万円増加し、163億37百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が5億40百万円減少したことや、受取手形及び売掛金が7億26百万円減少したこと等により、13億4百万円減少し、287億6百万円となりました。

固定資産は、投資その他の資産のその他が4億71百万円減少したものの、有形固定資産のその他（純額）が16億86百万円増加したことや、投資有価証券が4億85百万円増加したこと等により、27億64百万円増加し、284億15百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が13億80百万円減少したことや、短期借入金が4億6百万円減少したこと等により、16億15百万円減少し、175億28百万円となりました。

固定負債は、リース債務が8億29百万円増加したことや、長期借入金が16億65百万円増加したこと等により、25億97百万円増加し、108億17百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が748百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が3億23百万円増加したことや、利益剰余金が5億58百万円増加したこと等により、4億78百万円増加し、287億94百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の49.5%から1.1ポイント減少し、48.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日決算発表時の公表値を修正しております。詳細につきましては、本日開示の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,744	7,204
受取手形及び売掛金	12,641	11,915
商品及び製品	2,295	2,183
仕掛品	873	977
原材料及び貯蔵品	4,360	4,219
その他	2,163	2,414
貸倒引当金	△68	△209
流動資産合計	30,010	28,706
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,592	4,713
機械装置及び運搬具（純額）	6,362	6,804
工具、器具及び備品（純額）	1,922	2,194
土地	1,590	1,647
その他（純額）	3,117	4,803
有形固定資産合計	17,584	20,163
無形固定資産		
のれん	1,855	1,763
その他	1,486	1,750
無形固定資産合計	3,342	3,514
投資その他の資産		
投資有価証券	3,674	4,160
その他	1,048	576
投資その他の資産合計	4,723	4,737
固定資産合計	25,650	28,415
繰延資産	18	18
資産合計	55,679	57,139
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,498	6,118
短期借入金	5,814	5,407
未払法人税等	450	350
賞与引当金	609	371
製品保証引当金	380	341
その他	4,391	4,939
流動負債合計	19,143	17,528
固定負債		
社債	1,095	1,120
長期借入金	5,107	6,773
退職給付に係る負債	168	172
資産除去債務	42	42
リース債務	933	1,762
その他	873	945
固定負債合計	8,220	10,817
負債合計	27,364	28,345

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,952	2,952
利益剰余金	19,541	20,100
自己株式	△578	△578
株主資本合計	24,675	25,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,062	2,386
為替換算調整勘定	806	57
その他の包括利益累計額合計	2,869	2,443
非支配株主持分	770	1,116
純資産合計	28,315	28,794
負債純資産合計	55,679	57,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	43,685	45,112
売上原価	36,330	38,065
売上総利益	7,354	7,047
販売費及び一般管理費	5,179	5,703
営業利益	2,174	1,343
営業外収益		
受取利息	45	48
受取配当金	78	68
不動産賃貸料	16	15
助成金収入	59	31
為替差益	93	—
その他	121	128
営業外収益合計	415	292
営業外費用		
支払利息	125	161
支払報酬	9	1
保険解約損	62	—
為替差損	—	80
その他	25	40
営業外費用合計	223	285
経常利益	2,366	1,350
特別利益		
固定資産売却益	25	22
投資有価証券売却益	313	—
特別利益合計	339	22
特別損失		
固定資産売却損	6	4
固定資産除却損	15	14
訴訟和解金	—	4
特別損失合計	21	23
税金等調整前四半期純利益	2,684	1,349
法人税、住民税及び事業税	839	526
法人税等調整額	△106	△117
法人税等合計	733	408
四半期純利益	1,951	941
非支配株主に帰属する四半期純利益	65	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,886	940

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,951	941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,134	323
為替換算調整勘定	△158	△801
その他の包括利益合計	△1,292	△478
四半期包括利益	658	463
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	626	514
非支配株主に係る四半期包括利益	31	△51

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

第2四半期連結会計期間より、株式の取得により子会社化したALPHA ADVANCED AUTOMOTIVE PARTS CO., LTDを連結の範囲に含めております。

（会計方針の変更）

国際財務報告基準（IFRS）を適用する在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用し、原則としてすべての借手としてのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上する方法に変更しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において有形固定資産の「その他（純額）」が672百万円、流動負債の「その他」が261百万円、固定負債の「リース債務」が488百万円それぞれ増加しております。

なお、この変更に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客へ の売上高	5,991	11,041	14,870	4,678	6,466	637	43,685	—	43,685
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	2,610	130	563	528	24	2,658	6,516	△6,516	—
計	8,602	11,171	15,434	5,207	6,490	3,295	50,201	△6,516	43,685
セグメント利 益又は損失 (△)	325	688	794	△28	803	235	2,818	△643	2,174

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去28百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△671百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリ ティ機器事業 (日本)	セキュリ ティ機器事業 (海外)	計		
売上高									
外部顧客への売上高	5,040	10,406	13,738	8,486	6,730	710	45,112	—	45,112
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,914	169	588	285	20	2,756	5,734	△5,734	—
計	6,954	10,575	14,326	8,772	6,750	3,466	50,846	△5,734	45,112
セグメント利益又は損失(△)	△196	505	572	△86	894	280	1,971	△627	1,343

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去46百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△674百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「自動車部品事業（日本）」及び「セキュリティ機器事業（日本）」に配分していた当社の本社経費について、当社グループのグローバル化の進展に伴い、グループ全体の経営・管理活動を担うグローバル本社としての役割が増してきたことから、各報告セグメントの業績をより適切に把握するため、全社費用として区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しております。